

第161回柏崎しんきん地区内経済指標

(平成21年8月)

柏崎信用金庫

1. 人口・世帯数動向

【単位：人、世帯、％】

地区別	人口			世帯		
	人数	前年同月比	前月比	世帯数	前年同月比	前月比
中心部	9,743	-1.68	0.33	4,031	-0.41	0.49
東部地区	14,443	1.34	-0.03	5,664	1.55	-0.12
西部地区	10,799	-0.74	-0.18	4,020	0.37	-0.32
駅南地区	6,390	-0.21	0.03	2,683	0.59	-0.29
半田地区	3,597	0.61	-0.41	1,344	2.12	-0.44
横山地区	5,707	0.68	0.12	1,872	1.62	0.32
茨目・田尻地区	6,970	0.86	0.12	2,330	1.65	0.04
荒浜地区	5,132	-1.74	0.00	1,996	-1.52	-0.20
その他地区	21,067	-1.35	-0.24	7,186	0.13	-0.05
西山町地区	6,315	-1.77	-0.07	2,125	-0.93	-0.28
高柳町地区	1,974	-1.79	0.30	848	0.35	0.47
柏崎市計	92,137	-0.51	-0.04	34,099	0.46	-0.04
刈羽村	4,940	-0.30	-0.14	1,547	0.51	0.06
小国地区（長岡市）	6,460	-1.56	-0.21	2,152	-0.50	-0.04
出雲崎町	5,226	-1.11	-0.34	1,816	-0.43	-0.05
合計	108,763	-0.59	-0.07	39,614	0.37	-0.04

（資料出所：柏崎市、各市町村）

地域全体の人口動向は、前年同月比では引き続き全ての市町村・地区で減少しており、柏崎市で479人、0.51％、刈羽村で15人、0.30％、小国地区（長岡市）で103人、1.56％、出雲崎町で59人、1.11％とそれぞれ減少し、全体では656人、0.59％の減少となった。

また、前月比においても、柏崎市で39人、0.04％、刈羽村で7人、0.14％、小国地区で14人、0.21％、出雲崎町で18人、0.34％と減少したことから、全体では78人、0.07％の減少となっている。

一方、世帯数は、前年同月比では小国地区で11世帯、0.50％、出雲崎町で8世帯、0.43％と減少したが、柏崎市で159世帯、0.46％、刈羽村で8世帯、0.51％と増加した結果、全体では148世帯、0.37％の増加となった。

また、前月比では、刈羽村で1世帯、0.06％と増加したが、柏崎市で17世帯、0.04％、小国地区で1世帯、0.04％、出雲崎町で1世帯、0.05％と減少し、全体では18世帯、0.04％の減少となっている。

2. 労働需給状況

【単位：人、倍、％】

	柏崎職安	新潟県	前年同月比		前月比	
			柏崎	県	柏崎	県
月間有効求人	703		-31.61		3.23	
月間有効求職者	1,939		95.26		-9.13	
月間有効求人倍率	0.36	0.35	-0.68*	-0.40*	0.04*	0.01*

*印は差し引き計算

（資料出所：柏崎公共職業安定所）

景気の同時指標である柏崎職業安定所管内の労働需給状況は、有効求人・求職状況（パートを除く常用）では、月間有効求人数が703人と前年同月比で325人、31.61％の大幅な減少となったものの、前月比では22人、3.23％と増加している。

一方、月間有効求職者数は1,939人と前年同月比で946人、95.26％の大幅な増加となったが、前月比では195人、9.13％と減少している。

以上の結果、月間有効求人倍率は0.36倍と前年同月比で0.68ポイントと大幅に下回り、前月比では0.04ポイント上回った。なお、県平均0.35倍に比べて0.01ポイント上回っている。

また、新規求人・求職状況（パートを除く常用）については、月間新規求人数が292人と前年同月比で129人、30.64％の大幅な減少となったが、月間新規求職者数は280人と前年同月比で2人、0.72％と増加した結果、月間新規求人倍率は1.04倍となり、前年同月の1.51倍に比べて0.47ポイント下回っている。

3. 建築確認申請

【単位：件】

	当 月 の 申 請			平成21年8月の年度累計	
	件 数	前年同月比	前 月 比	件 数	前年同月比
一 般 住 宅（併用）	43	-34	1	222	-278
共 同 住 宅	0	0	-1	4	2
事 務 所	1	0	0	5	-1
作 業 所・工 場	1	0	1	2	-8
営 業 建 物	1	-1	-1	16	-8
公 共 建 物	0	0	-1	2	1
そ の 他	7	1	-1	55	-9
合 計	53	-34	-2	306	-301

(資料出所： 柏崎市建築住宅課)

建築確認申請の状況は、当月の申請合計が53件と前年同月比で34件の大幅な減少、前月比でも2件減少している。工種別における主な増減は、一般住宅（併用）が前年同月比で34件と大幅に減少している。

なお、工種全体の申請内容は、新築が25件、増築が23件、改築が5件となっている。また、一般住宅（併用）43件における市内・市外施工業者別の確認申請の状況については、市内施工業者が26件（うち新築14件、増築11件、改築1件）、市外施工業者が17件（うち新築10件、増築4件、改築3件）となった。

4. 電力使用量

【単位：口、kwh、%】

	契 約 口 数			使 用 量		
	口 数	前年同月比	前 月 比	使 用 量	前年同月比	前 月 比
電 灯	65,528	-1.07	0.29	18,896	-10.17	20.61
電 力	11,284	-2.70	0.03	38,641	-19.59	-2.74

(資料出所： 東北電力(株)柏崎営業所)

〔 電灯は、家庭・道路照明・一般器機等に100Vの電源。
電力は、工場・スーパー・モーター動力等主に200Vの電源。 〕

契約口数は、電灯が前年同月比で711口、1.07%の減少となったものの、前月比では191口、0.29%と増加している。一方、電力も前年同月比で314口、2.70%の減少、前月比では4口、0.03%の増加となっている。

使用量は、電灯が前年同月比で2,141kwh、10.17%の減少となったが、前月比では3,230kwh、20.61%と大幅に増加している。また、電力においては、前年同月比で9,417kwh、19.59%の大幅な減少、前月比でも1,091kwh、2.74%の減少となっている。

5. ガス供給量・水道給水量

【単位：m³、%】

	ガ ス 供 給 量			水 道 給 水 量		
	供 給 量	前年同月比	前 月 比	給 水 量	前年同月比	前 月 比
家 庭 用	754,875	4.43	-10.48	749,135	-2.83	4.94
営 業 用	246,188	-4.58	9.74	142,019	-7.82	12.51
工 場 用	561,832	-23.35	-11.87	146,269	-3.62	-5.10
官 公 学 校 用	432,020	-1.64	7.00	101,168	-6.50	-3.36
そ の 他				294	33.63	149.15
合 計	1,994,915	-7.34	-5.40	1,138,885	-3.91	3.62

(資料出所： 柏崎市ガス水道局)

柏崎地域でのガス供給量は、用途合計では前年同月比で158,188m³、7.34%の減少、前月比でも114,013m³、5.40%と減少している。用途別内訳を見ると、前年同月比では家庭用を除くすべての用途で減少、前月比では家庭用、工場用で減少している。

一方、水道給水量においては、前年同月比で46,383m³、3.91%の減少となったものの、前月比では39,872m³、3.62%の増加となった。用途別内訳を見ると、前年同月比ではその他を除くすべての用途で減少、前月比では工場用、官公学校用を除くすべての用途で増加している。

6. 北陸自動車道利用状況

【単位：台、％】

	入 口			出 口		
	台 数	前年同月比	前 月 比	台 数	前年同月比	前 月 比
柏 崎	101,902	6.32	7.81	108,695	7.16	8.28
西 山	61,459	-10.40	18.34	60,343	-11.04	23.97
米 山	37,008	-5.36	34.37	33,629	-2.50	29.69
合 計	200,369	-1.56	15.16	202,667	-0.53	15.82

(資料出所：柏崎市産業振興部観光交流課)

柏崎地域の物流指標となる高速道路出入口の交通量は、入口が全体では前年同月比で3,180台、1.56%の減少となったものの、前月比では26,383台、15.16%と大幅に増加している。一方、出口においても、全体では前年同月比で1,085台、0.53%の減少、前月比では27,686台、15.82%の大幅な増加となっている。インター別で見ると、前年同月比では柏崎インターが入口・出口ともに増加、西山・米山インターで減少した反面、前月比ではすべてのインターの入口・出口ともに大幅に増加している。

7. 市内民間金融機関預金・貸出金残高

【単位：百万円、％】

	預 金			貸 出 金		
	残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
末 残	358,171	0.51	-0.13	147,115	1.89	0.50
平 残	359,668	1.85	0.02	145,268	2.32	0.49

預金は、末残が前年同月比で1,849百万円、0.51%の増加となったものの、前月比では472百万円、0.13%の減少となっている。また、平残は前年同月比で6,542百万円、1.85%の増加、前月比でも73百万円、0.02%と増加している。一方、貸出金においては、末残が前年同月比で2,742百万円、1.89%の増加、前月比でも745百万円、0.50%と増加している。また、平残も前年同月比で3,307百万円、2.32%の増加、前月比でも710百万円、0.49%の増加となっている。

8. 市内手形交換高

【単位：枚、百万円、％】

	枚数/金額	前年同月比	前 月 比
交 換 枚 数	31,514	571.22	-14.74
交 換 金 額	20,023	445.52	-7.02
不 渡 り 手 形 枚 数	52	1,200.00	-33.33
不 渡 り 手 形 金 額	38	21,446.06	-47.39

(資料出所：長岡手形交換所)

柏崎手形交換所は、平成21年3月31日に廃止となり、新たに平成21年4月1日から長岡手形交換所に統合されたため、平成21年4月分から長岡手形交換所による計数となっています。なお、前年同月比については、平成22年3月分までは柏崎手形交換所との比較になります。

長岡手形交換所における手形交換高は、交換枚数が前年同月比で26,819枚、571.22%の増加、前月比では5,451枚、14.74%の減少となった。また、交換金額は、前年同月比で16,352百万円、445.52%の増加、前月比では1,514百万円、7.02%の減少となっている。なお、不渡手形は52枚、38百万円発生している。

法的整理（負債1,000万円以上）による県内企業倒産2件（前年同月4件、前月6件）、負債総額1億円（同2億円、同42億円）となっている。地区別では、中越地区で2件（長岡市2件）発生しており、下越地区、上越地区では発生していない。業種別は製造業1件、販売業1件となり、倒産原因については、販売不振2件となっている。

当月の企業倒産は2件、負債総額で1億円と、件数、負債総額ともに平成21年で最少となり、前年同月比では件数で2件の減少、負債総額でも1億円の減少となっている。なお、負債総額10億円以上の大型倒産は発生していない。

県内経済は、底入れの動きがみられるものの、底ばいの厳しい状況が続いている。景気の先行きは依然として不透明感が強く、また雇用面も引き続き厳しい状況のなか、個人消費は弱い動きとなっているなど、今後の先行きしだいでは、資金繰りに行き詰るケースから小規模企業の倒産の増加が懸念されている。